

デュフロン 100 中塗K

ふっ素樹脂塗料用中塗

3-150RX4-00-01
日本ペイント株式会社
製品使用説明書

- 規格表示
- 特長
- 塗料性状

JIS K5659 鋼構造物用耐候性塗料 A種 中塗り塗料
・下塗りと上塗りとの付着性を良くします。
・耐水性、耐油性、耐薬品性にすぐれています。

		塗料液		硬化剤	
色		ホワイトおよび各色		淡黄色	
密度(g/cm ³)(23℃)		1.34 (糊状混合塗料) 1.46 (糊状塗料液) 0.92 (硬化剤)			
光沢		半つや			
引火点		4℃		4℃	
発火点		240℃ (参考値)		367℃ (参考値)	
消防火表示	化学名	合成樹脂エナメル塗料		合成樹脂クリヤー塗料	
	危険物区分	第4類 第1石油類(非水溶性)		第4類 第1石油類(非水溶性)	
	危険物等級	II (火気厳禁)		II (火気厳禁)	
有機溶剤区分		第2種		第2種	
毒劇物表示		-		-	
有害物表示		エポキシ樹脂		ポリアミドアミン	
国連/指針番号		1263/128		1866/128	
環境性能	クロビリス	配合せず	ホルムアルデヒド	配合せず	トルエン 11.8%
	キシレン	10.7%	パラジクロロベンゼン	配合せず	エチルベンゼン 2.7%
	スチレン(モノマー)	配合せず	フタル酸ジ-n-ブチル	配合せず	テトラヒカン 配合せず
	フタル酸ジ-2-エチルヘキシル	配合せず	タリジン	配合せず	アセトアルデヒド 配合せず
	アノラカル	配合せず	鉛	配合せず	
T V O C		36.9%			

- ・塗料性状に記載の数値は、全て代表的な色相、つやを想定しています。
- ・加熱残分(%) : 64 (ホワイト混合塗料) 67 (ホワイト塗料液) 45 (硬化剤)

- 塗装基準
- 下地調整
- 混合
- 荷姿

- ・被塗面に付着したダスト・海塩粒子・水分・油そのほかの異質物を清掃し、清浄ケレンしてください。
- 2液形のため、「塗料液：硬化剤 = 85 : 15 (重量比)」に混合し、十分にかくはんしてください。
- 20kgセット (塗料液：硬化剤 = 17kg : 3kg)、
- 5kgセット (塗料液：硬化剤 = 4.25kg : 0.75kg)

ポットライフ : 8時間 (23℃)

希釈剤 : ハイボンIホキシナー、ハイボンIホキシナー S、ハイボンIホキシナー-W

塗装方法 :

塗装方法	はけ、ローラー塗り	エアレススプレー塗り
希釈率	0 ~ 5%	0 ~ 10%
使用量	0.14kg / m ² / 回	0.17kg / m ² / 回
膜厚 (ドライ)	30 μ m	30 μ m
膜厚 (ウェット)	70 μ m	70 μ m

- ・上記の各数値は、標準的な数値です。被塗物の形状・素地の状態・気象条件・希釈率および測定機器・測定方法により増減します。
- ・上記の使用量は、記載の塗装方法で標準的に使用する量を記載しています。必要に応じ、所定の使用量・膜厚になるように使用量・塗り回数を調整してください。
- ・一次圧0.4 ~ 0.5MPa 二次圧12 ~ 15MPa チップNo.163-615、617など

エアレス条件 :
乾燥時間 :

	5℃	23℃	30℃
指触乾燥	2時間	1時間	30分
半硬化乾燥	7時間	3時間	1時間
塗り重ね乾燥	24時間以上10日以内	16時間以上10日以内	16時間以上7日以内

- ・乾燥時間は目安です。使用量、通風、湿度および素地の状態によって異なります。

□ 注 意 事 項

- ・ 塗装場所の気温が5℃以下、湿度85%以上、また換気が十分でなく結露が考えられる場合は塗装を避けてください。
 - ・ 塗装後短期のうちに、降雨や結露など、水分の影響を受けると白化することがあり、このような白化面にそのまま塗り重ねると層間付着性が悪く、はく離するおそれがありますので、ペーパー掛け、シンナー拭きなどで白化した層を除去してください。
 - ・ 上塗りを塗り重ねる場合、夏場連続して直射日光にさらされる場合は5日以内に塗り重ねてください。5日を超える場合は、面荒しを行ってください。
 - ・ 溶剤系塗料のため、室内での塗装は必ず換気を行ってください。また、外部での塗装においても、換気口・空気取入口などに養生を行い、溶剤蒸気が室内に入らないように注意してください。居住者へのご配慮をお願い致します。
 - ・ 作業前に容器に記載している「安全衛生上の注意事項」をご参照ください。
 - ・ 塗料漏洩の原因になりますので、保管・運搬時に容器を横倒しにしないでください。
- 製品安全に関する詳細な内容は安全データシート (SDS) をご参照ください。